



総研大ニューズレター

第48号 2012.5 発行

●目次

【今月のトピックス】	「平成24年度入学式を挙行」	総務課
	「平成24年度（第3回）学長賞ポスター発表会及び授与式 開催」	学務課
	「総研大担当教員が平成24年度科学技術分野の 文部科学大臣表彰を受けました」	総務課
	「天文科学専攻利川潤さんの研究発表をプレスリリース」	学融合推進センター
	「平成24年前学期学生セミナー「つながる」開催」	学融合推進センター
	「平成24年後学期学生セミナー 岡崎交流会報告」	学融合推進センター
	「学長イニシャティブ事業 総研大フォーラム 『異分野結合の必要性 課題と方途』 開催」	総務課
	「宇宙科学研究所が大学共同利用の機能を強化」	宇宙科学研究所

【各種募集】

【イベント情報】

主なイベント予定

5月13日	基礎生物学専攻、生命共生体進化学専攻	大学院説明会
5月19日、26日	天文科学専攻	入試ガイダンス
5月26日	遺伝学専攻	大学院説明会
6月7日	情報学専攻	大学院入試説明会
6月8日～9日	生命共生体進化学専攻	オープンキャンパス
6月15日	統計科学専攻	大学院説明会
6月23日	サイエンスカフェ	（湘南国際村センター）
7月8日	日本歴史研究専攻	大学院説明会

【今月のトピックス】

●平成24年度入学式を挙行

平成24年4月12日（木）葉山キャンパス2階講堂において平成24年度入学式が行われました。遅かった春の桜が満開の中、入学者73人中65人が参加しました。これまでの総入学者数はこれで2,552人となりました。

開式の辞、役職員の紹介に続いて、入学者の名前が一人ずつ読み上げられ入学が許可されました。

高畑学長の式辞があり、出席者は緊張した面持ちで聞き入っていました。



【文責：総務課】

● 平成24年度（第3回）学長賞ポスター発表会及び授与式を開催

平成24年4月11日（水）総研大葉山本部にて「平成24年度（第3回）学長賞ポスター発表会」が開催されました。各候補者による学位研究課題発表の後、ポスターボード前にて審査員を交えた活発な質疑応答が行われました。厳正な審査の上、本年度の受賞者は最終候補者9名全員と決定し、翌日の入学式時に高畑学長より学長賞が授与されました。



受賞者一覧

【文化科学研究科】

①今井 彬暁（地域文化学専攻）

「『労働』の実践と表象の民族誌 —ベトナムのモン族社会における観光化の中の労働観の変遷—」

【物理科学研究科】

②Ying Zhang（機能分子科学専攻）

「NMR studies of structures, dynamics and interactions of oligosaccharides」

③濫谷 隆俊（天文科学専攻）

「赤方偏移 7.3 ライマンアルファ輝線銀河探索と遠方銀河アウトフローによって解き明かされる宇宙再電離」

【高エネルギー加速器科学研究科】

④吳 彦霖（物質構造科学専攻）

「X線多重回折を用いた位相コントラストイメージング法による高感度撮像システムの開発と応用」

【複合科学研究科】

⑤劉 志（情報学専攻）

「誤り耐性を有するマルチビュー映像ストリーミングに関する研究」

【生命科学研究科】

⑥吳 泉（遺伝学専攻）

「Nodal/Activin signaling promotes sex differentiation of male germ cells」

⑦柴田 美智太郎（基礎生物学専攻）

「選択的オートファジーによる植物ペルオキシソームの品質管理機構の解明」

⑧宮本 愛喜子（生理科学専攻）

「生後発達期におけるミクログリアの神経回路形成に対する役割の解明」

【先導科学研究科】

⑨川嶋 彩夏（生命共生体進化学専攻）

「毒物・薬物代謝系の進化-ヒト特異的性質の創出機構の解明」

【文責：学務課】

● 総研大担当教員が平成24年度科学技術分野の文部科学大臣表彰を受けました

本学の担当教員11名が、平成24年度科学技術分野の文部科学大臣表彰を受けました。

この賞は文部科学省が、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、日本の科学技術水準の向上に寄与することを目的として表彰が行われています。

本学担当教員 受賞者一覧

科学技術賞（研究部門）

- 小林 武彦 生命科学研究科 遺伝学専攻 教授
業績名「細胞内の遺伝子増幅機構及びその生理作用の研究」
- 高橋 晃周 複合科学研究科 極域科学専攻 准教授
業績名「バイオリギング手法の開発と海洋生物の行動生態の研究」
- 山田 弘司 物理科学研究科 核融合科学専攻 教授
渡邊 清政 物理科学研究科 核融合科学専攻 教授
榊原 悟 物理科学研究科 核融合科学専攻 准教授
業績名「核融合炉に必要な高い圧力を持つプラズマの安定保持の研究」

科学技術賞（理解増進部門）

- 吉岡 信和 複合科学研究科 情報学専攻 准教授
業績名「先端ソフトウェア技術の普及啓発」

若手科学者賞

- 伊原 伸治 生命科学研究科 遺伝学専攻 助教
業績名「細胞移動や浸潤における分子機構の研究」
- 大槻 久 先導科学研究科 生命共生体進化学専攻 助教
業績名「進化ゲーム理論を用いた利他性進化の研究」
- 西村 幸男 生命科学研究科 生理科学専攻 准教授
業績名「脊髄損傷からの機能回復を支える神経メカニズムの研究」
- 平田 普三 生命科学研究科 遺伝学専攻 准教授
業績名「脊椎動物の運動システム発達における分子基盤の研究」
- 宮尾 祐介 複合科学研究科 情報学専攻 准教授
業績名「深い構文解析の実用化とテキストマイニングへの応用の研究」

【文責：総務課】

● 天文科学専攻利川潤さんの研究発表をプレスリリースし、神奈川、産経、読売、毎日、日経新聞に掲載されました。

～すばる望遠鏡が見つけた宇宙最遠方の銀河団～

【研究概要】

本学天文科学専攻大学院生の利川潤（としかわじゅん）氏、国立天文台の柏川伸成（かしかわのぶなり）准教授、京都大学の太田一陽（おおかずあき）GCOE 特定研究員を中心とした研究チームは、すばる望遠鏡を用いた観測により、127 億 2000 万光年先にある「原始銀河団」を発見しました。これは現在知られている中で最も遠い原始銀河団です。

127 億 2000 万年前の宇宙、すなわち 137 億年の宇宙の歴史の中で、宇宙年齢がまだ 10 億年にも達しない初期宇宙に、すでに銀河団が存在したことを示します。すばる望遠鏡の広い視野と、暗い銀河まで見つけ出すことができるほどの大口径であること、この2つの特長を活かすことで、非常に稀な天体である原始銀河団をこれほどにも遠くから見つけ出すことができました。

さらに、発見された原始銀河団の内部構造を詳しく調べてみると、いくつかの銀河のグループを形成しているような傾向が見られました。より大きな銀河団を作るために小さな銀河集団が集まり始めた様子を、私たちは目撃しているのかもしれない。

本研究の成果は、宇宙の構造形成や銀河進化の解明に重要な手がかりを与えるものと考えられます。

この研究は、米国の天体物理学専門誌「アストロフィジカル・ジャーナル」の 2012 年 5 月 1 日号に掲載されています。

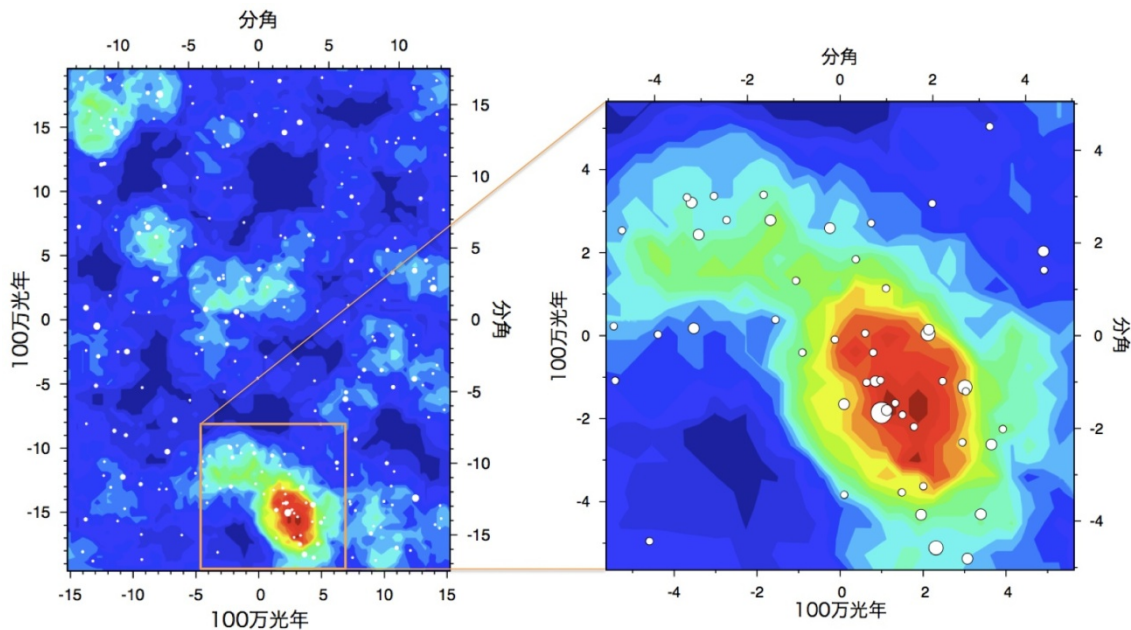


図 1：今回の観測で分かった 127 億年前の銀河の分布。白丸が銀河を表し、大きな丸ほど明るい銀河を表しています。背景は銀河の数密度を表し、銀河が集中している場所を赤く示しています。下・左側の軸は 127 億年前の宇宙での大きさ、上・右側の軸は天球面上での見かけの大きさを表します（1 分角は 1 度の 60 分の 1 の角度）。画像下側に非常に赤い部分、すなわち銀河の数密度が周囲よりも顕著に高い領域（原始銀河団）があることが分かります。右は原始銀河団付近を拡大したものです。（クレジット：国立天文台）

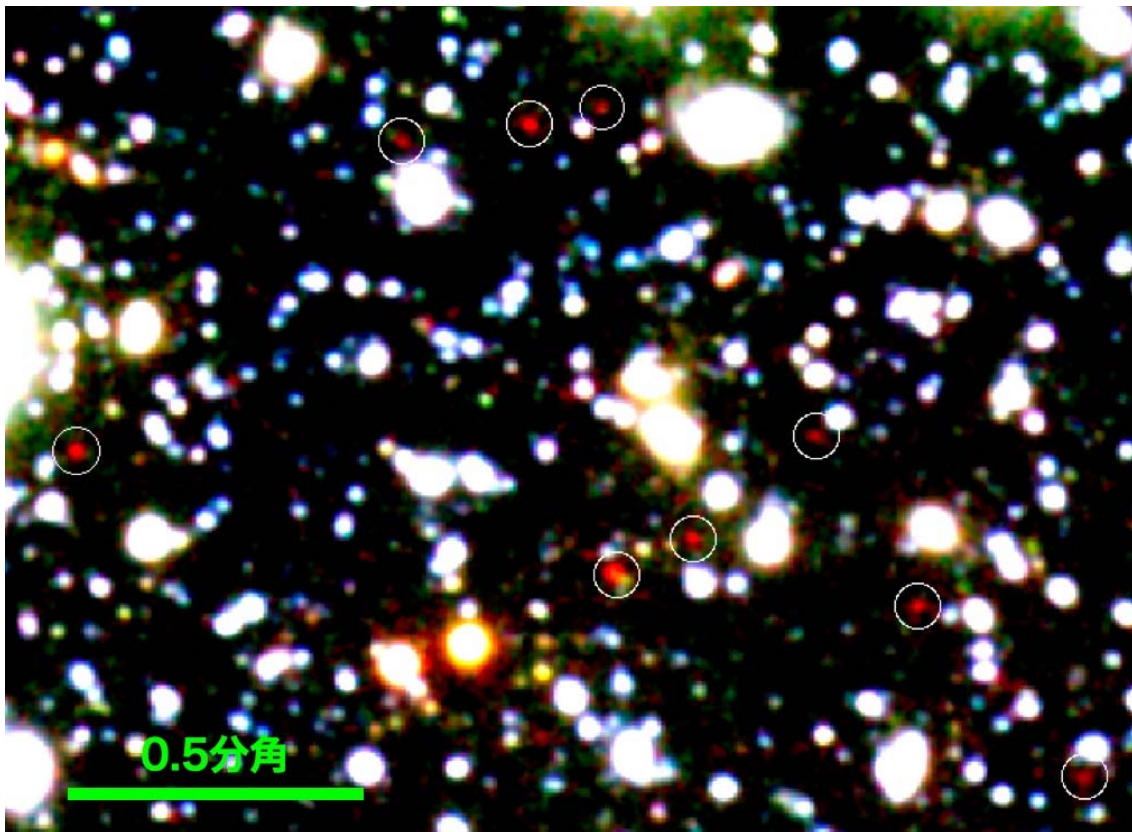


図 2 : 今回発見された原始銀河団の中心領域 (1.7 分角 × 1.2 分角) を拡大した画像 (すばる望遠鏡で撮影)。○で囲んだ赤い天体が 127 億光年先にある銀河。(スケールを示す記号を省いた図)。(クレジット : 国立天文台)

研究チームの構成

- ・利川潤 (総合研究大学院大学・大学院生)
- ・柏川伸成 (国立天文台・准教授)
- ・太田一陽 (京都大学・GCOE 特定研究員)
- ・諸隈智貴 (東京大学・助教)
- ・澁谷隆俊 (総合研究大学院大学・大学院生)
- ・林将央 (国立天文台・研究員)
- ・長尾透 (京都大学白眉プロジェクト・准教授)
- ・Linhua Jiang (アリゾナ大学・研究員)
- ・Matthew A. Malkan (カリフォルニア大学・教授)
- ・江上英一 (アリゾナ大学・准教授)
- ・嶋作一大 (東京大学・准教授)
- ・本原顕太郎 (東京大学・准教授)
- ・石崎剛史 (総合研究大学院大学・大学院生)

【文責 : 学融合推進センター 助教 眞山聡】

● 平成 24 年 前学期学生セミナー「つながる」を開催

<日 程> 2012 年(平成 24 年) 4 月 12 日 (木) ~13 日 (金)

<開催場所> 葉山キャンパス

<参加者数> 参加者 新入生 61 名、在校生 2 名、協力学生スタッフ 6 名、実行委員 14 名、教員 18 名 (役員 3 名、葉山以外 4 名、先導研 2 名、センター 9 名)、講師 2 名

今年の学生セミナー実行委員は、自分たちで学際交流、地域交流、社会発信をテーマに、プロジェクトを企画し、その経験を学生セミナー企画に反映しました。

学生セミナーのテーマは「つながる」です。プロジェクトごとに 3 つのセッションを企画し、セミナーを実施しました。

最初に学生セミナーのオープニングを飾ったのは、地域交流をテーマに活動していた地域プロジェクト班の「地域を学ぶ、地域に学ぶ」セッションです。地域を学び、学ぶを知るという趣旨の下、地域の情報を班ごとに分担して読みあい、ゆるキャラを話し合いで作る「ゆるキャラグランプリ」というワークショップを行いました。始めは戸惑っていた学生たちも、ゆるキャラを作る過程で、徐々に打ち解け、最後には個性豊かなゆるキャラが出そろいました。最後に、地域プロジェクト班が 1 年間の活動を振り返り、ワークショップをまとめました。



次に、研究者同士の分野を超えた交流を企画した学際チームは「あなた Color, 私 Color」というワークショップを実施しました。このセッションでは、持続可能な農村のあり方について、分野を超えて皆が知恵を出し合いました。懇親会を間にはさみながら、熱い議論が交わされました。

「農村をドラえもん工場にする」や、「農業をスポーツ化する」、などユニークなアイデアがたくさん出てきて、会場は熱気に包まれました。



2 日目のセッションは、社会発信をテーマに活動していたチームセーガンが企画した、「To Spread Yours」です。研究を社会に発信する活動の重要性について、共栄大学の平井宏典先生からは経営学の観点から、ただ価値あるものを生み出すだけでなくその価値を活用しなければなら

ないという、Value Creation と Value Capture の差についてのお話がありました。また国立天文台の縣秀彦先生からはサイエンスコミュニケーションの観点からご講演いただき、日本の成人の科学離れと我が国の科学技術政策についてのお話がありました。会場からは熱心に質問が飛び交い、身近にできる社会発信についてなどの議論で盛り上がりました。様々なプログラムを経て、平成 24 年度前期学生セミナーは盛況のうちに終了しました。



1泊2日の短い期間ですが、新入生は多くの総研大の仲間を見つけ、研究者になるためのヒントを見つけることができたのではないのでしょうか。今年は、学生セミナー実行委員は単に企画を考えるだけでなく、実際に経験を通して学んだことを新入生に伝えるために、本セミナーを企画しました。地域連携、学際交流、社会発信、聞こえのいい言葉の裏には、目に見えない課題、難しさ、そしてそれを乗り越えた時のつながる喜びがあります。ぜひ、新入生にも、考えるだけでなく、実行できる研究者に、語るだけでなく、解決する研究者になってほしい、と思います。



【文責：学融合推進センター 助教 奥本素子】

● 平成 24 年後学期学生セミナー 岡崎交流会報告

<日 程> 2012 年(平成 24 年) 4 月 20 日 (金)

<開催場所> 岡崎キャンパス

<参加者数> 参加者 在校生 11 名、当日参加学生 3 名、協力学生スタッフ 1 名、教員 8 名、講師 3 名 (総研大修士生)

4 月 20 日に岡崎コンファレンスセンターにて、平成 24 年度後学期学生セミナー交流会が開催されました。この交流会は、10 月に実施される後期学生セミナーの準備の為のミーティングの一つですが、“Tell us about your career!”をテーマに、外国籍学生を中心に議論が行われました。

講師に比較文化学専攻 2011 年修了で民族博物館研究員の Maria Yotova さん、基礎生物学専攻 2003 年修了で東京学芸大学の助教として研究活動を行っている Ali FERJANI さん、生理科学専攻修了で生理研 研究員の KEÇELİ Batu さんを招請し、「自身のキャリア」について語ってもらいました。

Maria Yotova さんは外国籍の学生が学位を取得した後、60%は日本で就職したいと思っているが、「情報が届かない」「会社と学生の希望とのミスマッチ」「博士学位を持つ学生の就職先の少なさ」などの理由で就職できないということを指摘しました。そして、その解決のためには先輩、先生、友達を中心にネットワークを作ること、ビジネス日本語・ビジネスマナーをしっかりと学ぶことをアドバイスしてくれました。そして、Ali FERJANI さんは日本では夜遅くまで、あるいは休日を返上して働かなければならない文化があることを指摘しながらも自由に研究ができるというメリットがあることを示してくれました。KEÇELİ Batu さんは日本での研究生活・文化を家族とともに日本文化を楽しんでいること、将来的には母国に帰って研究を続けたいと語ってくれました。



参加学生は自分の将来を考える良い機会となったようで熱心に質問をしていました。

また、講演後のグループディスカッションでは、日本と海外では研究に費やす時間に対する考え方が違うことによる戸惑いがあることやワーク・ライフ・バランスをどのように考えるかなど留学生にとってさまざまな課題があることを忌憚なく言い合える場になりました。

10 月には、ここに出された課題のいくつかに焦点をあて、解決するための学生セミナーをつくっていきたいと考えています。

The 1st exchange meeting of FY 2012 2nd Semester SOKENDAI Student Seminar in OKAZAKI

We plan to host an assembly to promote exchange between foreign exchange students, Japanese students, and the teachers at the Graduate University for Advanced Studies. The first meeting will gather foreign graduates working in Japan and have talks, with the theme, “Tell us about your career!” We look forward to seeing you there.

1. Date: 20th (Fri) April, 2012
2. Venue: Okazaki Conference Center (OCC)
3. Theme: "Tell us about your career!"
4. Lecturers: 3 graduates of SOKENDAI
 Maria Yotova 比較文化学専攻修了. 民族博物館 研究員
 Ferjani Ali 基礎生物学専攻修了 東京学芸大学 自然科学系助教
 KEÇELİ, Batu 生理科学専攻修了 生理研 研究員
5. Eligible participants: SOKENDAI new and current students, and faculty members

[Program Time Table]

20th (Fri) April, 2012	
Time slot	Program
13:30-14:00	Introduction
14:00-14:50	Career for students in humanities –Maria Yotova san
14:50-15:15	Break
15:15-16:05	Career for students in sciences –Ali FERJANI san
16:05-16:55	Career for students in sciences– KEÇELİ, Batu san
16:55-17:30	Discussion about student seminar
17:45-18:00	Break time (check-in)
18:00-20:00	Dinner session “Faculty ~Alumni ~ New & Current students”

【文責：学融合推進センター 講師 岩瀬峰代】

● **学長イニシャティブ事業 総研大フォーラム「異分野結合の必要性 課題と方途」を開催**

平成 24 年 3 月 29 日（木）と 30 日（金）の 2 日間にわたって、学長イニシャティブ事業 総研大フォーラム「異分野結合の必要性 課題と方途」が葉山キャンパス 2 階講堂において開催されました。



このフォーラムの開催趣旨は、自然科学と人文学との亀裂が指摘されて久しい中、異分野結合-総合化の諸問題を根底から問い直し、その必要性、教育研究上あるいは制度上の課題を浮き彫りにして、将来的な方策を議論するものです。

(キーワード：科学と社会、整合性、検証可能性、再現性、因果律、複雑性、階層性)

初日は、総合司会兼コーディネーターの永山國昭 生理学研究所特任教授（総研大名誉教授）の進行により、主催者挨拶に続いて、市川惇信 東京工業大学名誉教授並びに大沢文夫 名古屋大学名誉教授（大阪大学名誉教授/愛知工業大学客員教授）による講演が行われました。

2 日目は、高安秀樹 ソニーコンピューターサイエンス研究所シニアリサーチャー、北川源四郎 情報・システム研究機構長、渡邊 興亞 総合研

究大学院大学監事(国立極地研究所名誉教授)、金田章裕 人間文化研究機構長による 4 つの講演及び総合討論が行われました。

参加者は、2 日間にわたる多様なテーマの講演に熱心に聴き入っていました。また講演ごとの質疑応答では、積極的に質問がなされていました。

今回のフォーラムにおいては、「(人や社会のような) 仮構の世界にも普遍を作り込める」をひとつの結論とし、これを出発点として次回のフォーラムを企画することとしております。



●フォーラムのプログラム

1日目（3月29日（木））

主催者挨拶

「科学は人と社会にどこまで迫れるか」

市川惇信（東京工業大学名誉教授）

「生物物理学創出と手作りの統計力学」

大沢文夫（名古屋大学名誉教授/大阪大学名誉教授/愛知工業大学客員教授）

懇親会

2日目（3月30日（金））

「経済物理学の創出」

高安秀樹（ソニーコンピューターサイエンス研究所シニアリサーチャー）

「統計学の総合性と情報・システム研究機構の融合研究」

北川源四郎（情報・システム研究機構長）

「総合科学の極域と極域村の文化」

渡邊 興亜（総合研究大学院大学監事/国立極地研究所名誉教授）

「文化学の課題と人間文化研究機構の連携研究」

金田章裕（人間文化研究機構長）

総合討論

総合司会兼コーディネーター

永山國昭（生理学研究所特任教授、総合研究大学院大学名誉教授）

司会（2日目）

平田光司（総研大・学融合推進センター副センター長、先導科学研究科教授）

【文責：総務課】

●宇宙科学研究所が大学共同利用の機能を強化

大学共同利用機関として設置された宇宙科学研究所は、平成15年の宇宙航空3機関の統合により独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）に組み入れられた以降、大学共同利用機関の精神を継承する「大学共同利用システム」という制度によって運営されてきました。しかし機構特有の諸制度の影響で、大学共同利用の機能が研究者コミュニティや大学から見えなくなっていたことから、かつて宇宙科学研究所が持っていた宇宙科学研究の中核拠点としての役割を十分に発揮できなくなっていました。

そこで大学のユーザーから強い要請のある共同利用・共同研究の利用環境の改善を図る様々な取り組みが検討されました。まず、統合後、明確になっていなかった大学共同利用機関として引き継がれた役割を機構内で位置づけるために内部規程が整備され、様々な制度が混在していたものを、大学の研究者が本務として宇宙科学研究所を研究活動に自由に利用できる制度として、新たに「大学共同利用システム研究員」制度を開始、利用者の身分を明確化しました。

さらに利用者の利便性の向上を図るためワンストップサービスを行うユーザーズオフィスの設置も合わせて行いました。大学共同利用システム研究員の称号が与えられると、各自が専用のポータルサイトを利用できるようになり、IDカードの発行やネットワークの利用の申請、旅費の請求や宿泊施設利用など各種申請もネットで可能となります。

各種手続きを集約したワンストップオフィスが設置されたことにより、研究所の施設・設備を利用したり、プロジェクトに参加あるいは共同研究を実施するため研究所に来訪する大学の研究者の利便性が向上され、利用上の敷居はかなり下がったものと思われます。ハードのユーザーズオフィス、ソフトのポータルサイトは両輪として機能し、総合的なユーザーサポート体制を通じて、大学との連携関係を強固かつ円滑なものとする役割が期待されています。



【文責：宇宙科学研究所】

【各種募集】現在公募中の情報

事 項	応募期間	提出先
国立天文台滞在型研究員 http://www.nao.ac.jp/Jobs/Job000237.html	随時(滞在希望初日の前月1日まで)	国立天文台研究支援係
平成24年度国立天文台研究集会(第2回) http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/kouryuu/koubo/kyodo.html	平成24年6月29日(金)必着	国立天文台研究支援係
学融合推進センター 研究論文助成 http://center.soken.ac.jp/act/thesis.html	随時	総合研究大学院大学 学融合推進センター事務係

【イベント情報】

● 総研大の行事

5月

日程	時間	行事名	場所
13日(日)		基礎生物学専攻 大学院説明会 http://www.nibb.ac.jp/graduate/	東京ステーションコンファレンス
13日(日)		生命共生体進化学専攻 大学院説明会 http://www.esb.soken.ac.jp/admissions/open_campus/20120513.html	東京ステーションコンファレンス
19日(土)	13:00-16:45	天文学専攻入試ガイダンス http://guas-astronomy.jp/Applicants/nyusi-guidance.html	メルパルク京都
26日(土)	10:00-18:00	天文学専攻入試ガイダンス http://guas-astronomy.jp/Applicants/nyusi-guidance.html	国立天文台 三鷹キャンパス
26日(土)	13:00-17:30	遺伝学専攻 大学院説明会	国立遺伝学研究所

6月

日程	時間	行事名	場所
7日(木)	17:00-19:00	情報学専攻 大学院入試説明会	学術総合センタービル 1階特別会議室
8日(金) -9日(土)		生命共生体進化学専攻オープンキャンパス	葉山キャンパス
15日(金)		統計科学専攻 大学院説明会 http://www.ism.ac.jp/senkou/	統計数理研究所
23日(土)	14:00-16:00	サイエンスカフェ 「1億度にプラズマを加熱する-太陽を地上に-」	湘南国際村センター

7月

日程	時間	行事名	場所
8日(日)		日本歴史研究専攻 大学院説明会	明治大学アカデミーコモン

● 基盤機関の行事

5月

日程	時間	行事名	場所
3月27日(火) -5月6日(日)	9:30-16:00	企画展示 洛中洛外図屏風と風俗画	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/index.html			
3月28日(水) -5月6日(日)	10:00-16:30	機構連携展示 都市を描く—京都と江戸—第Ⅱ部 「江戸名所と風俗画」	国文学研究資料館1階展示室
http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2011/edomeisyo.html			
4月17日(火) -5月20日(日)	9:30-16:00	近世の風俗画	国立歴史民俗博物館
4月17日(火) -5月6日(日)	9:30-16:00	くらしの植物苑特別企画 「伝統の桜草」	国立歴史民俗博物館
4月26日(木) -6月19日(火)		特別展「今和次郎 採集講義—考現学の今」	国立民族学博物館 特別展示館
3日(木・祝)	10:00-17:00	Fusion フェスタ in Tokyo-2012 -核融合！未来を創るエネルギー-	日本科学未来館
5日(土・祝)	10:00-16:30	あそびの広場 2012「織る編むであそぼう！」	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/mmp/20120505			
6日(日)	10:30-12:00	特別展「今和次郎 採集講義—考現学の今」関連 ワークショップ「みんなくで考現学的パワースポット を探そう」	国立民族学博物館 本館展示場内ナビひろば
6日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第252回講演「考現学を楽しむ」	国立民族学博物館
12日(土)	13:00-15:00	第341回 歴博講演会 「遷都の古代史-『動く都』から『動かない都』へ-	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html			
12日(土)	13:30-16:30	みんなく映画会／みんなくワールドシネマ「僕たちは世界を変えることができない。But, we wanna build a school in Cambodia.」	国立民族学博物館 講堂
13日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第253回講演タイトル「『濟州島の民家』の調査と模型」	国立民族学博物館
19日(土)	13:30-15:00	特別展「今和次郎 採集講義—考現学の今」関連 第408回みんなくゼミナール「今和次郎 採集講義 と日常生活文化研究の現在」	国立民族学博物館 講堂
20日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第254回講演タイトル「物と家族— ある特別展の舞台裏」	国立民族学博物館

26日(土)	13:30-15:30	くらしの植物苑観察会 「錦絵にみる植物」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
26日(土)		国立天文台 岡山天体物理観測所 特別観望会 2012 春	岡山天体物理観測所 および岡山天文博物館
http://www.oao.nao.ac.jp/public/event/2012s/			
27日(日)	10:30-12:00	特別展「今和次郎 採集講義—考現学の今」関連 ワークショップ「みんなくを飛び出してモノ調べ・風景調べ」1 回目	国立民族学博物館 本館展示場内ナビひろば
27日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第255回講演「大村しげコレクション を読む」	国立民族学博物館

6月

日程	時間	行事名	場所
2日(土)	13:30-15:30	歴博映画の会 第15回 「風の盆のあるまち-富山市八尾の都市文化-」	国立歴史民俗博物館
3日(日)	11:00-12:00	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第256回講演タイトル「民博の考 現学遺伝子」	国立民族学博物館
3日(日)	14:30-15:30	特別展「今和次郎 採集講義—考現学の今」関連 みんなく映画会「記録映画 昭和の家事」	国立民族学博物館 講堂
7日(木) -8日(金)	(7日) 13:00-20:00 (8日) 10:30-17:00	平成24年度国立情報学研究所オープンハウス(講 演、ポスター展示・デモ、説明会等)	学術総合センター
9日(土)	11:00-14:30	特別展「今和次郎 採集講義—考現学の今」関連 ワークショップ「みんなくを飛び出してモノ調べ・風 景調べ」2 回目	国立民族学博物館 本館展示場内ナビひろば
9日(土)	13:00-15:00	第342回 歴博講演会 『できない』への小さな挑戦	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html			
9日(土)	14:00-16:30	研究公演「忘れない絆、絶やさない伝統—震災復興 と文化継承を願って」	国立民族学博物館 <晴> 玄関前広場 (屋外)、1F エントラン スホール <雨> 講堂、1F エン トランスホール

9日(土)	15:00-16:30	特別展「今和次郎 採集講義—考現学の今」関連シンポジウム「今和次郎が調査した民家の今— 瀝青会による『日本の民家』再訪プロジェクト」	国立民族学博物館 第5セミナー室
10日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第257回講演タイトル「民俗建築 学者群像:今和次郎先生を中心として」	国立民族学博物館
15日(金)		統計数理研究所オープンハウス	統計数理研究所
http://www.ism.ac.jp/			
16日(土)	13:30-15:00	特別展「今和次郎 採集講義—考現学の今」関連 第409回みんなくゼミナール「生活財の考現学— 高度経済成長期の家庭景観」	国立民族学博物館 講堂
17日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第258回講演タイトル「近代日本 の洋装ときもの」	国立民族学博物館
23日(土)	13:30-15:30	くらしの植物苑観察会 「くらしの中に息づく植物」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
24日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第259回講演タイトル未定	国立民族学博物館

7月

日程	時間	行事名	場所
1日(日)	未定	音楽の祭日 2012 in みんなく	国立民族学博物館 特別展示館他
8日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第260回講演タイトル未定	国立民族学博物館
7月10日(火) -9月2日(日)	9:30-16:00	企画展示 楽器は語る—紀州藩主徳川治宝と君子 の楽—	国立歴史民俗博物館
7月10日(火) -9月2日(日)	9:30-16:00	<新収資料の公開>南都楽人辻家の文書	国立歴史民俗博物館
14日(土)	13:00-15:30	第343回歴博講演会「木戸孝允をめぐるあれこれ」	国立歴史民俗博物館
15日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第261回講演タイトル未定	国立民族学博物館
21日(土)	13:00-16:30	歴博フォーラム第83回「人・音・文化-紀州徳川家 伝来楽器コレクションをめぐる-」	国立歴史民俗博物館

21日(土)	13:30-15:00	特別展「今和次郎 採集講義—考現学の今」関連 第410回みんなくゼミナール「情報アクティビスト宣言—市民の知的探究と博物館」	国立民族学博物館 講堂
21日(土)	15:30-17:20	核融合科学研究所 市民学術講演会	セラミックパークMIN O 1階 国際会議場
22日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第262回講演タイトル「あたらしくな ったビデオテーカ—みんなく最後のビデオテー カ???	国立民族学博物館
28日(土)	13:00-17:00	歴博フォーラム第84回「河童とは何か」	早稲田大学 大隈記念講堂
28日(土)	13:30-15:30	第160回くらしの植物苑観察会「縄文時代の栽培植 物と農耕」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
29日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第263回講演タイトル「移民の国フ ランスとアフリカの深い関係」	国立民族学博物館
7月31日(火) -9月2日(日)	9:30-16:00	くらしの植物苑特別企画「伝統の桜草」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑

【教員の受賞情報等】

物理科学研究科

天文科学専攻

○田村元秀 准教授

2011年度日本天文学会 林忠四郎賞 受賞

複合科学研究科

統計科学専攻

○山下智志 教授、江口真透 教授、三浦翔氏（三菱東京UFJ銀行、総研大卒業生）

2011年度JAFEE論文賞【応用部門】 受賞

情報学専攻

○計宇生 教授

電子情報通信学会情報・システムソサエティ活動功労賞 受賞

生命科学研究科

基礎生物学専攻

○長谷部光泰 教授

科学技術映像祭の文部科学大臣賞 受賞

【編集後記】

総研大ニューズレター第 48 号をお届けします。

今年の春は遅かったため 4 月 12 日の入学式のころ桜が満開となり、また、お天気にも恵まれたため、入学者の皆さまにとってはとても爽やかな式典となったと思います。

また、入学式の後の 1 泊 2 日の学生セミナーでは、学生の皆さまと教員の皆さまの交流が深められたものと思っております。



葉山キャンパスの風景



先導研屋上からの眺め

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力をお願いします。

発行 2012 年 5 月 9 日

編集



国立大学法人

総合研究大学院大学

THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課（担当）

TEL 046-858-1500/FAX 046-858-1542

©2012 SOKENDAI